

第3回 東陽地域審議会会議録

開催日時	平成18年10月4日(水)午後2時00分～4時30分
開催場所	東陽支所2階大会議室

出席委員

会長	黒田正勝	委員	黒田武生	委員	森口之
副会長	福田安子	"	黒田育夫	"	橋本剛
委員	岩本美重子	"	和田義幸	"	山本清人
"	岩本誠一	"	畑中由美	"	志水忠雄
"	太江田久子	"	村井忠孝		
"	岡崎実	"	寺本恭子		
"	國岡力	"	野崎里美		
"	上村克弘	"	山本義孝		20名

欠席委員

委員	小原修	委員	黒田健治	委員	前田紀成
"	山口勝則	"	正信ヨシエ	"	5名

出席職員

役職	氏名	役職	氏名
八代市長	坂田孝志	企画振興部長	小笠原亨
東陽支所長	小林繁	" 次長	尾崎
総務課長	入田正治	地域振興課長	米田健二
東陽支所建設課長	岩本近義	" 審議員	坂口孝幸
" 市民環境課	下星慎一	" 副主幹	澤田宗順
" 健康福祉課	石田一人	企画調整課課長	永原辰秋
" 産業振興課	中野敏憲	" 課長補佐	福永知規
総務課振興係長	橋永高德	総務課振興係参事	藤田けい子

その他の出席

役職	氏名	役職	氏名

傍聴者

一般傍聴者	0名	報道機関	0名
-------	----	------	----

協議事項

八代市総合計画基本構想について 市長との懇談について 八代市住民自治推進検討委員会(中間報告) その他
--

議事録

会議成立宣言

(事務局)

本日は5名の委員さんがご欠席となりますが、地域審議会の設置に関する事項の第7条第3項により、委員の2分の1以上の出席となりますので審議会は成立いたします。定時になりましたので開会の挨拶を東陽支所長が行います。

(小林支所長)

皆さんこんにちは。本日はご多忙中にもかかわらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。これより「第3回東陽地域審議会」を開催いたします。

(事務局)

続きまして会長挨拶をお願いします。

黒田会長挨拶

(事務局)

続いて、現在、策定を進めております、「八代市総合計画基本構想」について、地域審議会の設置に関する事項の第3条第3項「新市の基本構想の作成及び変更に関する事項」により、東陽地域審議会へ諮問を行います。

諮問書交付 市長から黒田会長へ手渡し。

(事務局)

この八代市総合計画基本構想は、地方自治法第2条第4項に基づき策定するもので、「まちづくりに取り組む基本的な考え方やめざすまちの将来像」などを示していくこととなります。合併して初めての基本構想の策定となりますので、ご審議をどうぞ宜しくお願いいたします。

市長挨拶

(事務局)

それでは、早速議題に入っていきますが、地域審議会の設置に関する事項の第7条第4項に「審議会の議長は、会長が務めるものとする。」と規定してありますので、これから先は、会長に会議を進めて頂きます。

(会長)

それでは、早速審議に入って参ります。先ず、先ほど市長より諮問をいただきました「八代市総合計画基本構想」について、事務局から説明をお願いします。

事務局説明(企画調整課長)

(会長)

ただいまの事務局からの説明について、何か判らない点や事務局に確認したい点があればお願いします。

意見なし

(会長)

それでは、事務局が冒頭に申しましたように、本日は市長がお見えになっています。

これより、八代地域が抱える課題や総合計画基本構想について、市長と直接意見交換をする時間を設けていただいています。

ただ、時間も限られていることから、有効に時間を活用していきたいと考えています。各委員には事前に「お聞きしたいこと、質問したいこと」などお尋ねしており、5名の委員から通告がっておりますので、こちらから指名します。各自ご質問をお願いします。まず黒田武生委員をお願いします。

(黒田委員)

種山地区のまちづくり交付金事業（森下公園整備事業、黒淵公園整備事業）が平成18年度で完了し、景観整備や交流センター（温泉施設）及び物産館（菜摘館）の施設整備が整い、今後は東陽地区の産業の中心として貢献していくものと思います。

さて合併時の新市計画では、引き続き河俣地区に「まちづくり交付金事業」が予定されていましたが、現時点での計画はどのようになっているかお尋ねします。

(市長)

河俣地区については、新市計画ではH19年から5年間と計画してあったが、種山地区のまち交が18年度繰越事業となったこと、また本年度から新たに河俣地区で簡易水道事業4億2千万円、移動体通信施設事業1億2千万円など新たに大型事業が入ってきたこともあり、これまでの予定通りには進めにくい状況にあります。今後は地元皆さん方のご意見を聞きながら、支所とも協議して事業を適切に進めて行くこととなりますのでご理解ください。

(会長)

続きまして岩本誠一委員をお願いします。

(岩本委員)

現在、八代地域ではイ草の減少やトマト等の価格低迷などで厳しい状況です。将来の農業に希望をもって取り組める様にやる気のある後継者を育成して欲しい。具体的には、若いうちに海外研修や国内先進地視察等に行き、地域を見直しやる気のある後継者づくりを進めてもらいたいと思います。

(市長)

八代市では「若者ふれあい促進事業、産業担い手育成事業」をやってきたが、これを「元気が出る産業活性化支援事業」でできないか、あるいは「八代市担い手育成総合支援事業」で対応できないか検討しましたが、どうもそこではやりにくようですので、来年度は新たな制度を創設して農業後継者リーダー育成事業に取り組みたいです。

(会長)

太江田久子委員お願いします。

(大江田委員)

合併して一年、学校関係、老人会、婦人会、その他各種団体の状況を見てみると、マイクロバスが東陽支所からなくなったため、移動手段に困っている状況です。公共のバスは便数が少なく、スポーツセンターに来るには坂があるため、どうしても車が必要です。予算、財政面は別にして早急にマイクロバスの設置をお願いいたします。

(市長)

本庁に2台、鏡に2台、千丁1台、泉1台とマイクロバスが配置してあるが、利用状況をしらべてみたところ千丁支所の利用頻度が低いようです。車は八代市民全体が対象となるので、千丁支所のが空いているならばそれを利用してもらいたい。ただし行政事業に関わらない業務についての利用は白タク行為になりますので法令遵守でお願いします。

(会長)

岡崎実委員お願いします。

(岡崎委員)

箱石は県道も通っていないし災害も多い。今の道路を拡張と言うのではなく、(河俣まで行く途中の宮原五木線の川向こうの山は道路が無いために山も荒れている状況なので)大型車も通れるような林道網を新設整備して欲しい。

(市長)

箱石地区の道路は実際行ったこともあり離合も難しい状況を理解している。林道新設の要望がありましたが、林道新設については受益面積など補助要件に当てはまらないこともあり、また単独で事業をするととなると多額な費用と長期になることが予想される。このため現在の市道新開～箱石線を改良整備した方が効率がいいと判断できるので、そのような方向性で行きたいと思いますのでご理解ください。

(会長)

岩本誠一委員お願いします。

(岩本委員)

合併前の時期に、「一部で税金の滞納者が多くその額が数億円にもなる」と聞いたことがあります。合併後1年経過した現在はどのような状況になっているのかお尋ねします。

(市長)

滞納金額は、市税約14億6700万円、国保税約16億800万円、合計30億7500万円となっています。今後とも徴収体制の強化や差し押さえ等も実施して回収に取り組んで公平な市政運営を図りたい。また市営住宅の家賃滞納につい

でも悪質な場合は提訴も辞さないとの姿勢で対応していきます。

(会長)

岩本美重子委員お願いします。

(岩本委員)

平成18年度の助成金5%カットではなく、旧町村婦人会(旧郡部)へは50%カットでもらいましたが、市からの旧町村婦人会への助成金の配当基礎は実際どれだけだったのでしょうか?また、今後は助成金はいつまでももらえるのかお尋ねします。できれば旧郡単位で内訳をつけての配分をしてもらえれば活動しやすいので助かります。

(市長)

旧市町村の17年度助成額の全体は1,850,000円で、18年度助成額としては1,700,000円が八代市地域婦人会連絡協議会へ支出されています。けっして50%カットではありません。これは皆さんが話し合いによって合併された八代市婦人会に対し一括交付しているものであり、その中味にまで市が立ち入るのは僭越なことと思いますので、会の内部で協議いただき各校区への配分は決めて欲しいと思いますのでご理解ください。

なお、助成金の存続についてですが、在任中はなくなることはないと思います。

(会長)

時間も限られていますので、市長との意見交換会はこの辺で止めたいと思います。事務局においては、皆さんから出た意見をまとめていただき、できる限り基本構想へ反映していただきたいと思います。

(事務局)

大変申し訳ございませんが、坂田市長は公務の都合上、ここで退席をさせていただきます。

(会長)

坂田市長におかれては、公務の忙しい中に足を運んでいただき、大変感謝申し上げます。私としても微力ながら、この東陽地域が本当に「合併してよかった」と実感できる八代市を創造していかなければならないと考えています。是非、市長のリーダーシップを発揮していただき、地域が元気になるまちづくりを今後も進めていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

～・～・～・～ 5分休憩 ～・～・～・～

(会長)

それでは次に、議題3の「八代市住民自治推進検討委員会中間報告」です。事務局より中間報告の前に、先進地で取り組まれているコミュニティづくりの啓発ビデオの放映が準備されていますので、まずはそちらを見たいと思います。

(会長)

それでは、議題に入っていきます。住民自治推進検討委員会には、山本委員と黒田委員のお二人が委員として入っておられます。その中間報告を先ず、委員からお願いいたします。

(山本委員)

前回の地域審議会において、「八代市住民自治推進検討委員会」での経過報告を行っております。これまで6回委員会を開催しまして、本日「住民自治によるまちづくりの推進に関する提言」の中間報告に至ったところでございます。先ず、「なぜ住民自治が叫ばれ始めているのか」、「また、なぜ必要なのか」をご理解いただく必要があります。ご承知のように近年では、市民の生活様式や価値観の変化、高速交通機関・情報手段の発達によって、多様化、複雑化が進んでいます。併せて地域の抱える課題も、環境問題であるとか青少年育成、少子・高齢化社会の問題等、広範囲であり、行政の業務や役割も多種多様化しています。また、新聞・報道でもあるように地方の税収減や地方交付税の大幅な減額が見込まれています。八代市は、合併して規模は大きくなったものの、市の財政は、市税のほか地方交付税に依存していると思いますので、厳しい財政運営を強いられることが予想されると思います。

そのため、市当局としても、抜本的な行財政改革を進めていかれることは勿論ですが、我々の住民サービスの提供をすべて行政だけに頼っていくということに限界がきていることも否めません。

やはり、今後は我々住民もまちづくりの構成員として、行政と手を取り合いながら「協働」で地域のまちづくりを行っていくという認識が必要となります。

今回の中間報告では、ただ今申しましたことを踏まえて、4章構成でまとめております。「基本理念」から、「コミュニティの現状と課題分析」、「住民主体の取り組みに向けて」、「住民自治を目指す仕組みづくり」について、アンケート調査結果や事務局から提示された資料等を参考にしながら議論を積み重ねて参りました。詳細については、事務局から説明をいたさせますが、住民に身近な課題やルールを住民自らが決定し、住民と行政の「協働」についてのシステムづくりを目指していくという報告内容になっています。委員各位におかれては、趣旨をご理解いただき、たくさんのご意見を出していただきまして、今後の詰め作業に入って参りたいと考えております。

どうぞ宜しくお願いいたします。以上で中間報告を終わります。

(会長)

ありがとうございました。

それでは、次に事務局から簡単に中間報告の概要説明をお願いします。

事務局説明

(会長)

ただいま、山本委員さんと事務局から中間報告がありました。事前に中間報告の資料が配られていると思います。今、報告のあった「住民自治によるまちづくりの推進について」の考え方や文言の修正、追加などのご意見を出していただきたいと思います。

特段の質疑及び意見なし

(会長)

今後検討委員会で最終報告に向けた協議がなされるようです。山本委員と黒田委員におかれては、最終作業となりますが、どうぞ宜しくお願いします。

次に、最後の「その他について」ですが、この地域審議会の役割として、諮問に限らず、この審議会が必要と認める事項については、市長に意見を述べるができるということになっています。東陽地域で特に必要であるものがあれば、議題に載せていきたいと思いますが、何かありませんでしょうか。行政に対して、ご意見、ご要望、ご質問等があれば、どなたでも結構です。忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

(森口委員)

CATVのテレビ番組表が4月から全戸配布は中止になり、希望者に有償でコピーするように変更になったのですが、とても不便ですので再会を検討してもらいたい。

(事務局)

新年度より経費削減のため、番組表の全戸配布は取りやめました。現在希望者には実費として1枚10円で希望の番組表(CS放送分)をコピーして渡しています。東陽支所での利用者は月に10名くらいです。今後はインターネット等を利用していただき番組表はそちらで確認していただくよう接続世帯の普及も進めていこうと思っています。泉、坂本支所の番組表コピー実績も調査して再度検討をしてみますが、費用対効果を考えると全戸配布の戻るのは難しいと考えます。

(山本義孝委員)

グリーンツーリズムで現在活動していますが、自分達ばかり素人ではどうしても限界があるような気がします。プロのコンサルタントにも意見を聞いてみたいときがありますが、今年は予算の関係でそういうのができないとのこと。大切な事業と思うますのでどうにかできないものでしょうか？

(小笠原部長)

グリーンツーリズムは今後団塊の世代の退職を迎え有望な事業と思います。しかしながらコンサル導入というのはなかなか予算的に難しく、職員が1200名おりますので英知を結集して取り組んでいこうというスタンスで対処しているところです。ただし専門的なものなどどうしても必要のものに対しては対応しております。県の人材派遣制度を利用して行う方法なども考えていいのではと思っています。

(国岡委員)

黒淵公園について質問します。工事はもう終わったのでしょうか？また川向こうの山は買収してありますが今後の整備の計画がありますか？

(事務局)

対岸については、公園計画は変更になっております。今後の公園工事の予定はありません。

(会長)

最後になりますが、次回の開催について、事務局から説明をお願いします。

事務局説明

(会長)

次回の地域審議会は、12月に開催されるということです。開催通知は、事務局より送付させたいと思います。

それでは、本日の第3回東陽地域審議会を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。